

地域経済力が高まるまちづくり

『実施計画』のイメージ

宮津の海の資源を活かした魅力的な海のまち【海の活用】

分野別数値目標		R元年度(現況)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(目標)	所管課
栗田半島を中心とした周辺臨海エリア入込客数	目標			46.8万人	47.8万人	48.8万人	49.8万人	50.8万人	企画課 商工観光課
	実績		46.2万人	21.9万人					
スーパーヨット、中型輸送船等の年間入港数	目標							3隻/年	企画課 商工観光課
	実績		0隻/年	0隻/年					

※年度ごとの数値目標の設定と毎年度の点検(点検結果に応じた数値目標の見直し)  
⇒『基本計画』の「分野別数値目標」の「現況(R1)」と「目標(R7)」を踏まえて、  
R3からR6までの年度ごとの数値目標を定め、毎年度、実績を確認していくもの。  
(その点検結果を踏まえて、数値目標の見直しも。)

5年間の対応方向	具体的方策	具体的方策の達成度
----------	-------	-----------

民間事業者等と連携した周遊観光の推進等多様なニーズに対応する「海」を活かした観光まちづくりに取り組みます。	① 府内有数の観光地「天橋立」を中心とした宮津港の特色を活かした観光の玄関港を目指し、大型客船の入航や超大型クルーザー「スーパーヨット」の誘致などを進めます。	
	② 海の関係者による「宮津の海を活用したにぎわいづくり戦略会議(仮称)」を設置し、事業者との連携による宮津湾、栗田湾の海上交通の観光資源化に取り組み、新たな周遊観光を促進します。	
	③ 自転車やランニング、シーカヤックなどアクティビティを組み合わせたスポーツ観光の拠点として、観光地の新たな魅力を創出します。	
	④ 島崎地域一帯にある市の公共・遊休施設等について民間資本等の導入による一体的な活用・活性化を進めることにより、ウォーターフロントエリアの再開発を目指します。	

田井宮津ヨットハーバーを海の拠点とし、民間事業者と連携した商品造成等他地域との連携により、宮津湾東側「田井臨海エリア」を新たな集客エリアとするにぎわいを創出します。	⑤ 宿泊事業者などと連携した商品プランの創設や地元産品の直売所機能など民間の活力による新たな魅力づくりに取り組みます。	
	⑥ 地元地域や事業者などと連携し、新鮮な食材を活用した「海鮮食堂」の開催など「食」による魅力づくりに取り組みます。	
	⑦ 集客促進に向け、海を活用したアクティビティなどを充実し、海上レクリエーション	

具体的方策を実現するための具体的な事業	具体的な事業の概要と進捗状況					所管課
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	

財産管理事業 (島崎ウォーターフロントエリア等の再開発に向けて) 【R3予算説明資料】当初：主要事業の概要26 【R3決算説明資料】主要事業の概要〇〇〇	【事業の概要】 ◆民間資本導入による島崎エリア等の再開発に向けたサウンディング調査(R2調査のブラッシュアップ) 【予算額：4,000千円】	【事業の概要】 ◆サウンディング結果を踏まえ、島崎エリアの再開発に係る基本的な考え方(案)の作成	【事業の概要】 ◆募集要項の作成 ◆プロポーザル等による公募 ◆優先交渉事業者の選定	【事業の概要】 ◆民間事業者による調査・設計	【事業の概要】 ◆民間事業者による整備(2~3年間)	財政課
	【決算額：〇〇〇千円】 【実績・成果】 ◆〇〇〇〇〇〇 ◆〇〇〇〇〇〇 ◆〇〇〇〇〇〇 【課題・検証】 ◆〇〇〇〇〇〇					

※R3年度は、予算発表時に市議会に提出等する『主要事業の概要』から「事業の概要」と「予算額」を簡潔に記載  
※R4年度からR7年度は、現時点での計画を記載

※決算発表時に市議会に提出等する『事業等説明資料』の「事業実績」「成果」「課題・検証」などから、「決算額」と「実績・成果」や「課題・検証」について、簡潔に記載する。

宮津湾にぎわいづくり促進事業 【R3予算説明資料】当初：主要事業の概要27 【R3決算説明資料】主要事業の概要〇〇〇	【事業の概要】 ◆(新)田井宮津ヨットハーバー環境整備 ◆(新)田井臨海エリア賑わいづくりに向けた実行委員会立上げ ◆B & G艇庫の管理 【予算額：15,000千円】	【事業の概要】 ◆田井宮津ヨットハーバー修繕整備 ◆田井臨海エリア賑わいづくり促進事業 ◆B & G艇庫の管理	継続実施予定	継続実施予定	【事業の概要】 ◆田井宮津ヨットハーバー修繕整備(大規模改修投資) ◆田井臨海エリア賑わいづくり促進事業 ◆B & G艇庫の管理	企画課 商工観光課
	【決算額：〇〇〇千円】 【実績・成果】 ◆〇〇〇〇〇〇 ◆〇〇〇〇〇〇 ◆〇〇〇〇〇〇 【課題・検証】 ◆〇〇〇〇〇〇					

宮津市B & G海洋センター指定管理料 【R3予算説明資料】当初：主要事業の概要60 【R3決算説明資料】主要事業の概要〇〇〇	【事業の概要】 ◆宮津市B & G海洋センターの管理運営 ・(公社)京都府青少年育成協会への指定管理料 【予算額：7,000千円】	継続実施予定	継続実施予定	継続実施予定	継続実施予定	企画課
	【決算額：〇〇〇千円】 【実績・成果】 ◆〇〇〇〇〇〇 ◆〇〇〇〇〇〇 ◆〇〇〇〇〇〇 【課題・検証】 ◆〇〇〇〇〇〇					

※基本計画で示した具体的方策を実現するための具体的な事業の進捗状況  
⇒『基本計画』の「具体的方策」を実現するための「具体的な事業」として、  
対応方向・具体的方策に関連するR3からR7までの事業の見える化をし、  
予算・決算時に確認していくもの。  
(その点検結果を踏まえて、柔軟な事業の見直しも。)

な交通ネットワークを形成します。	
⑨ 海を活かした青少年の活動やヨット大会誘致などを推進します。	
⑩ 田井宮津ヨットハーバーの施設やサービスを整え、プレジャーボートやヨットなどの預り船の利用環境の向上及び充実を図り、富裕層の取り込みなど利用拡充に努めます。	